

水利施設保全管理補修部門 中央研修会 報告

(一社) 農業土木事業協会

(一社) 農業土木事業協会水利施設保全管理補修部門では、水利施設保全管理補修の分野において、新たな知見に基づいた様々な技術・工法が開発、提案されている中、当協会では既存の技術に留まることなく、新技術・工法に触れ、質の高い保全補修を行うことが、会員の皆様や補修工事を行う施工業者の皆様にとって重要と考え、中央研修会を企画しました。

中央研修会は、平成30年11月6日(火)、に開催され、協会会員・農業水利施設機能総合診断士合わせて約120名の参加者がありました。

本稿では、発表のあった7工法の中から以下の発表内容概要を報告します。

・既設管継手部における耐震補強について	(大成機工(株))
・ASR劣化している農業水利施設補修工事について	(サンユレック(株))
・既設水路の地下水位低下機能の再生について —追加施工ウィーブホールー	(株)北陽
・長寿命形の水路目地充填工法 3成分形シリコン系目地材『ハイブリッドSiX3』の開発	(田中シビルテック(株))
・超速硬化ウレアウレタンシステム ハイボンドRUS工法	(大同塗料(株))
・KU-LINER工法の曲管部への適用性について	(株)栗本鐵工所

なお、今回発表のあった「施設の液状化・耐震対策(ライト工業(株))」は、「JAGREE 97号」で掲載を予定しております。